

物流現場改善をデータで議論、数値で管理し、改善を実践する
物流現場改善リーダー育成のための専門講座

第8期

物流現場改善士 資格認定講座

開催のご案内 2017年6月15^(木)
～2018年2月2^(金)日

本講座の特色

- ・グループディスカッション、演習を多く取り入れ、理論・知識を実務で活用するための実践力を身に付けます。
 - ・実際の企業の物流現場をモデルにしたケーススタディへ取り組みます。
 - ・講座の成果として受講者の担当職場の改善実行計画が完成します。
- ※本講座ではワード、エクセル、パワーポイントならびにe-mailを使用します。

公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS



JILS 25th Anniversary
THINK TOGETHER

物流現場改善士資格認定講座



能力開発委員会
物流現場改善士専門委員会
成蹊大学 名誉教授

渡邊 一衛

開催にあたって

物流企業は、必要なものを、必要な分だけ、必要な時に、必要な状態で供給者から需要者へ移動させる役割があります。それを支えるのが包装、輸送、保管、荷役、流通加工及びそれらに関連する情報などの固有技術です。しかし、固有技術だけ持っていてもその役割を継続的に果たすことはできません。いわゆるP(生産性)、Q(品質)、C(コスト、資金)、D(納期、時間)、S(安全性)、M(モラル、士気)、E(環境)などの評価尺度を満たす必要があり、そのための適切な管理を行うこととなります。

物流はサービス業であるといわれます。サービス業に携わる人口は近年急速に増え、就業人口の7割に達しています。しかしその生産性は低いのが現実であり、高い生産性を実現したものづくりの管理技術をサービス

づくりに適用しようという試みが行われています。サービスのプロセスは、お客様と直に接する部分(フロントヤード)と、お客様に提供するサービスを作る部分(バックヤード)があり、ものづくりのノウハウが適用しやすいのは後者です。物流で見れば上で示した固有技術を適用している現場がそれにあたります。

本講座では、物流現場の生産性向上を行うための改善ができる人材を育成することをねらいとしています。日々の仕事は遂行できるが、そこにある多くの問題に気づかず、言われたことだけを行っている人はリーダーとしての資質を問われます。そのため、本講座では特に問題発見(気づき)の訓練の時間を多くとりました。次に、QCDに関する管理技術の内容を背骨にして、現場改善の実践力を高める内容を取り入れました。さらに、企業事例により具体的なモデルケースに取り組みむと同時に、自社の事例で少人数のディスカッションを行い、受講後すぐに実現できる実施計画を立てるところまでを学習いたします。

以上のように、本講座は物流現場のリーダーを実践的に育成するプログラムとして、各企業および物流現場の皆様にご利用いただけるものと確信致します。なお、2016年度には64名(累計445名)の物流現場改善士が誕生し、企業内での活躍が期待されております。関係各位の積極的な受講をお待ち申し上げております。

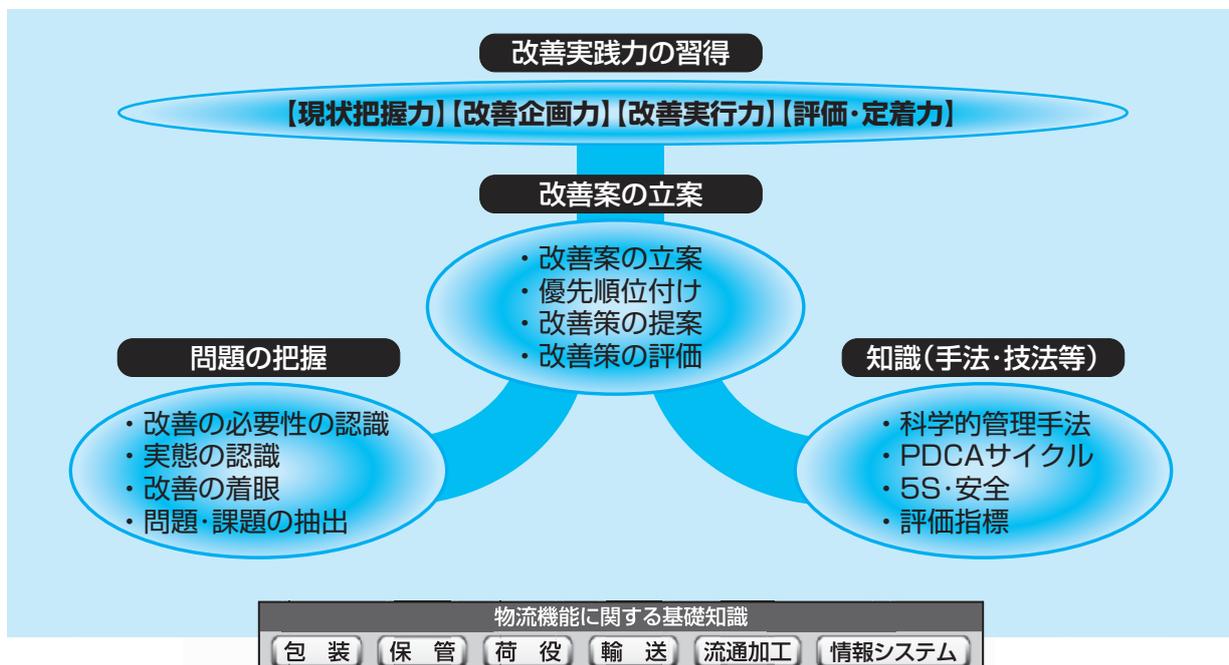
本講座のねらい

本講座は、現状把握、改善企画、改善実行、ならびに評価・定着の4つの力をベースとする「改善実践力」を習得し、物流現場改善を、データを活用して実践する、物流現場改善リーダーを育成します。



物流現場改善士資格取得者に
授与されるバッジ

本講座で習得できる能力 ～改善実践力～



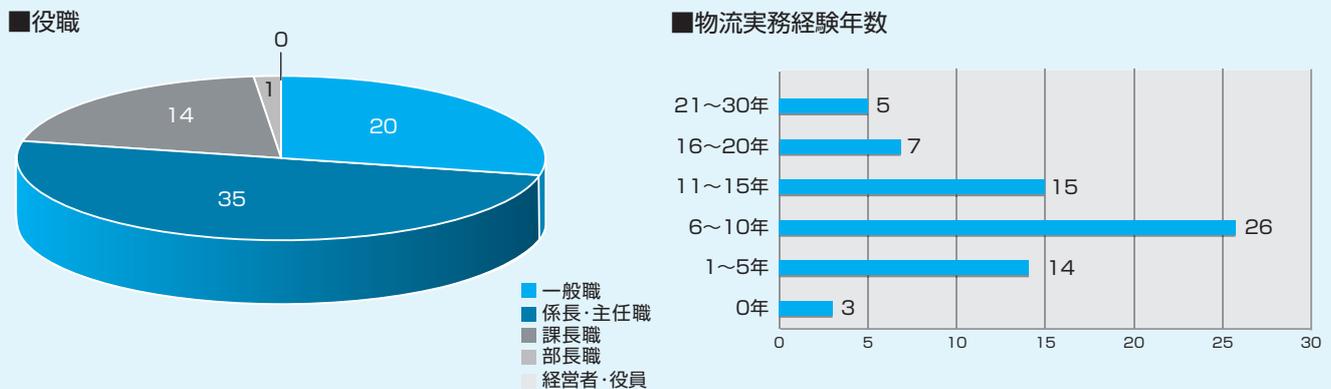
本講座の特徴

- 本講座は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催し、第一線の学識経験者、実務家、専門コンサルタントで構成した「能力開発委員会 物流現場改善士専門委員会」によって企画、運営される講座です。
- 本講座を受講し、修了基準を満たした方には「修了証」を授与いたします。また、本講座を修了し、所定の試験に合格した方には「物流現場改善士」の資格が授与されます。
- 本講座は、物流現場改善に不可欠な専門知識とノウハウを、講義、先進事例の紹介、演習、ならびにグループディスカッションを通じて提供いたします。
- 受講前後に「物流現場改善リーダーキャリアアップ診断」(以下、診断)を行います。受講前の診断では受講者各自の強み、弱みを把握し、受講後の診断では、理解度を確認いたします。
- 問題発見レポート、改善企画レポート、改善実行計画レポート-1は、振り返り演習において講師から指導が行われます。
- 改善実行計画レポート-1は、講師から1対1でのレポート指導が行われます。
- 全てのレポートは講師により採点がなされ、得点とコメントが受講者にフィードバックされます。
- 特典として、受講者全員に物流教育DVD「正しい荷扱い作業とは」「正しい現品管理とは」をお渡しし、基礎学習や教育ツールとして活用いただけます。

受講対象

- 製造業、物流企業(運送事業者・倉庫業者等)の物流現場改善のリーダーとリーダー候補で物流に関する基本的な用語を理解している方を対象とします。
- 受講者が改善の対象とできる物流現場をモデルに改善実行計画までのレポートを作成します。受講にあたっては、調査の実施やデータの入手が可能な物流現場が必要となります。なお、既に取り組みが終了している改善事例をレポートの対象とすることはできません。

第7期 物流現場改善士資格認定講座 受講者分布



物流現場改善士専門委員会 委員一覧

(順不同・敬称略)

委員長 渡邊 一衛 成蹊大学 名誉教授

副委員長 黒川 久幸 東京海洋大学 学術研究院 流通情報工学部門 教授

委員 秋本 哲実 味の素物流(株) 理事 物流業務推進部長
 牛村 良弘 (株)イトーヨーカ堂 物流企画開発部 マネジャー
 酒井 路朗 エルディーシー研究所 所長
 岡部 量 (株)オカムラ物流 静神支店 支店長
 小野寺正行 サン インテルネット(株) 業務監査室 シニアアドバイザー
 雨宮 路男 シンバホールディングス(株) 人材育成・改善業務活動・情報システム事業統括専務取締役

福原 将介 (株)水産流通 事業推進室長・管理部長

中野 喜正 日本通運(株) 業務部 専任部長

広瀬 卓也 (株)日本能率協会コンサルティング サプライチェーン革新センター シニア・コンサルタント

飯田 正幸 日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー

小林 広義 日本ロジテム(株) 営業戦略部 シニアコーディネーター

江尻 宏 (株)日立物流 グローバル営業統括本部 ロジスティクスソリューション開発本部 部長補佐

黒澤 明 (株)物流改善事務所 代表取締役

石山 光博 (株)クラウド 代表取締役社長

加藤 雅樹 明治ロジテック(株) 経営企画部 次長

第8期 物流現場改善士資格認定講座 カリキュラム

(敬称略)

第1単元 物流現場改善概論

会場 TIME 24ビル

1日

ねらい 物流現場改善活動が、なぜ必要であるのか。物流現場改善が企業競争力強化と企業価値の向上に与える影響、物流現場改善の重要性ならびに物流現場改善リーダーに必要な心構えについて講義するとともに、受講者の担当業務の物流フローについて理解する。

日程	時間	講義内容	講師
2017年 6月15日(木)	9:30 ~ 10:15	開講式・オリエンテーション	渡邊 一衛 成蹊大学 名誉教授
	10:30 ~ 17:00	1)物流現場改善概論 ・ 物流現場改善とは ・ 物流現場改善のインパクト ・ 演習：物流フロー図の作成 ・ 物流現場改善による効果 ・ 物流の基本認識	黒川 久幸 東京海洋大学 学術研究院 流通情報工学部門 教授

第2単元 現状把握力の強化

会場 TIME 24ビル

1日

ねらい 物流現場改善の第一歩は担当物流現場の問題点に気付くことにある。問題の発見に際し、どのような着眼点をもって問題点を抽出し、課題を明確にしていけるか、企業事例と演習を交えて問題発見の能力を高める。

日程	時間	講義内容	講師
2017年 6月16日(金)	9:00 ~ 13:00	1)問題発見の基礎 ・ 5S・安全 ・ 実態の認識 ・ 問題と課題の違い ・ 企業事例の紹介と解説 -1	小林 広義 日本ロジテム株式会社 営業戦略部 シニアコーディネーター
	14:00 ~ 18:00	2)問題発見のヒント ・ 改善の着眼点 ・ 問題の抽出 ・ 演習：問題発見の実施	酒井 路朗 エルディーシー研究所 所長
	18:00 ~ 18:20	出題:問題発見レポート	事務局

第3単元 改善企画力の強化

会場 TIME 24ビル

4日

ねらい 物流現場改善を企画・推進するうえで、適切な管理技術を活用し、データを用いて議論することが重要である。本単元では、IEアプローチとQC的問題解決を用いた改善の実践手法を学ぶとともに、物流コスト分析の基礎を学ぶ。

日程	時間	講義内容	講師
問題発見レポート提出			
2017年 7月19日(水)	9:30 ~ 13:30	1)物流コスト分析 ・ 物流コストの構造と算出、管理 ・ 物流 ABC、ABM の手法と実際	芝田 稔子 株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント
	14:30 ~ 17:30	2)振り返り演習-1(第2単元より) 問題発見レポートのグループディスカッション	物流現場改善士専門委員
	17:45 ~ 19:30	懇親会	
2017年 7月20日(木)	9:30 ~ 18:00	3)科学的管理手法の習得-QC、新QC ・ QC 的問題解決 ・ QC 手法の紹介と活用方法 ・ 新 QC 手法の紹介と活用方法	市川 博 大妻女子大学 家政学部 ライフデザイン学科 教授
	18:00 ~ 18:20	出題:改善企画レポート	事務局
2017年 8月3日(木)	9:00 ~ 18:00	4)科学的管理手法の習得-IE ・ 固有技術と管理技術 ・ 問題解決の役割 ・ 演習：グラフ化・数値分析	渡邊 一衛 成蹊大学 名誉教授
2017年 8月4日(金)	9:00 ~ 18:00	・ IE の考え方とアプローチ ・ 問題点の分析・評価	

第4単元 改善実行力・評価・定着力の強化

会場 TIME 24ビル

2日

ねらい 企画した改善計画を実行し成果を出すには、改善実行計画を関係者に理解してもらい、コミュニケーションを深めながら計画を進めるとともに、定量的に進捗管理を行い、成果を出し、さらに成果の出た改善を評価し、定着させることが重要である。本単元では、改善の実行から、成果を出し、その成果を評価、定着、そして横展開するまでのノウハウを企業事例と演習を交えて講義する。

日程	時間	講義内容	講師
改善企画レポート提出			
2017年 9月12日(火)	9:00 ～ 13:00	1)振り返り演習-2(第3単元より) 改善企画レポートのグループディスカッション	物流現場改善士専門委員
	14:00 ～ 18:00	2)改善実行の推進について ・実行推進の仕方 ・トラブル対応 ・企業事例の紹介と解説-2 ・教育・指導の基礎 ・コミュニケーション	雨宮 路男 シンバホールディングス株式会社 人材育成・改善業務活動・情報システム事業統括 専務取締役
2017年 9月13日(水)	9:00 ～ 13:00	3)物流現場改善の評価・定着・横展開 ・進捗管理 ・横展開 ・目標達成と定着 ・企業事例の紹介と解説-3	雨宮 路男 シンバホールディングス株式会社 人材育成・改善業務活動・情報システム事業統括 専務取締役
	14:00 ～ 18:00	4)物流評価指標・KPI ・物流評価指標とは ・進捗状況の評価 ・KPI設定の考え方 5)ケースの出題・説明 ・提案書・企画書の作成技法 ・提案(プレゼンテーションについて)	広瀬 卓也 株式会社日本能率協会コンサルティング サプライチェーン革新センター シニア・コンサルタント
	18:00 ～ 18:20	出題:改善実行計画レポート-1	事務局

第5単元 物流現場改善立案:ケーススタディ

会場 TIME 24ビル

2日

ねらい この講座の集大成として、「問題発見」「改善企画」「改善実行」「評価・定着」の知識とノウハウを活用し、実践力を養う場である。実際の企業の物流現場をモデルにしたケースから、講座を通じて得た知識、能力を総動員し、物流現場改善の立案を行う。

日程	時間	講義内容	講師
改善実行計画レポート-1提出			
2017年 10月26日(木)	9:00 ～ 11:30	1)振り返り演習-3(第4単元より) 改善実行計画レポート-1のグループディスカッション	物流現場改善士専門委員
	11:30 ～ 17:00 最大延長 20:00	2)レポート指導 改善実行計画レポート-1の個人指導 *作成したレポートに対して、1対1での指導を行いません。 3)グループディスカッション 4)グループごとの提案書発表 (1)質疑・応答 (2)グループメンバー相互の提案評価	物流現場改善士専門委員
2017年 10月27日(金)	9:00 ～ 18:00	5)講評とまとめ	
	18:00 ～ 18:20	出題:改善実行計画レポート-2	事務局

改善実行計画レポート-2提出

資格認定証授与式

会場 TIME 24ビル

日程	時間	内容
2018年 2月 2日(金)	16:00 ～ 18:30	1)主催者挨拶 2)委員長挨拶 3)資格認定証授与 4)懇親会

「物流現場改善士」として期待される到達レベル

「物流現場改善士」資格の認定の際には、特に下記の要件が重要となります。

- 1) 物流業務における問題点を常に意識し、問題点を把握することができる。
- 2) 把握された問題点を、各種の分析手法を用い分析し、課題を抽出することができる。
- 3) 抽出された課題に優先順位をつけ、課題解決のための方策を立案することができる。
- 4) 課題解決案を社内外の関係者に説明し、理解を得、実行することができる。
- 5) 実行した課題解決の結果を評価できる。

「物流現場改善士」資格認定基準

「物流現場改善士」の資格認定は、以下の基準によって行います。

- 1) 下記4つのレポート試験の全てを遅滞なく提出し、「改善実行計画レポート-2」の点(100点満点)が60点以上であること
 - ① 第2単元で出題される問題発見レポート
 - ② 第3単元で出題される改善企画レポート
 - ③ 第4単元で出題される改善実行計画レポート-1
 - ④ 第5単元で出題される改善実行計画レポート-2
- 2) 出席日数
 - ① 講座期間中(10日間)、7日以上出席すること。
 - ② 出席必須講義：振返り演習-1、2、3(第3単元、第4単元、第5単元)、および第5単元「物流現場改善立案：ケーススタディ」の2日間、全てに出席すること。

※資格認定規程の詳細については、講座開講時に事務局よりご説明いたします。

グループディスカッションについて

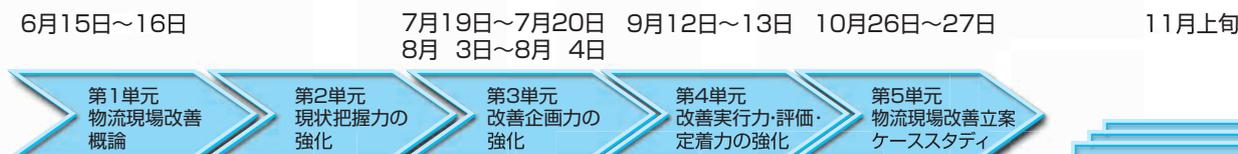
「振返り演習-1,2,3」「物流現場改善立案：ケーススタディ」では、受講者をグループに分け、グループディスカッションを行います。各グループには経験豊富な講師陣が加わり、その指導のもと、物流現場改善のアプローチ方法を習得することができます。

「物流現場改善士」の資格認定に際しては、グループディスカッションを通じての成長度、取り組み姿勢も評価の対象となります。

レポートについて

講座の流れにしたがって、所定のレポートを提出していただくと、講座の終了時には、受講者各自の物流現場を対象とした改善実行計画がまとまり、この計画をもとに、物流現場改善を実践していただくことが可能です(下図参照)。

<講義の流れ>



<レポートの流れ>

受講者各自の担当職場をモデルにレポートを作成します。

問題発見レポート

改善企画レポート

改善実行計画レポート-1

改善実行計画レポート-2

物流現場改善士 資格取得企業 第3期～第7期 (50音順)

秋田海陸運送株式会社

アサヒロジ株式会社

味の素物流株式会社

株式会社アディコム

ADEKA物流株式会社

伊東電機株式会社

伊藤ハム株式会社

乾汽船株式会社

イヌイ倉庫オペレーションズ株式会社

茨城乳配株式会社

インターナショナル・カーゴ・サービス株式会社

株式会社インフォセンス

エア・ウォーター物流株式会社

ANAエアロサプライシステム株式会社

エーザイ物流株式会社

SGフィルダー株式会社

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコサービス

遠州トラック株式会社

株式会社大崎

株式会社オカムラ物流

オリンパスロジテックス株式会社

カゴメ物流サービス株式会社

株式会社カネカ

川崎陸送株式会社

関東エース物流株式会社

株式会社キユーソー流通システム

株式会社KTL

ケイヒン株式会社

株式会社ケー・シー・エス

株式会社ゴリーキ

コクヨサプライロジスティクス株式会社

株式会社コクヨロジテム

コマツ物流株式会社

三愛ロジスティクス株式会社

サンインテルネット株式会社

サントリービジネスエキスパート株式会社

株式会社サンリツ

株式会社シーイーシー

株式会社シーエックスカーゴ

シスメックス株式会社

株式会社資生堂

親和パッケージ株式会社

鈴木株式会社

住化ロジスティクス株式会社

住商グローバル・ロジスティクス株式会社

生活協同組合連合会 東海コープ事業連合

西濃運輸株式会社

株式会社セル・ホールディングス

センコー株式会社

セントラルジャパンロジスティクス株式会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

株式会社大善

大和物流株式会社

中央エース物流株式会社

株式会社ティーエルエス

株式会社ティー・エル・エス

株式会社帝北ロジスティクス

株式会社テスココンポ

TOTO株式会社

株式会社ドコモCS

トライネット・ロジスティクス株式会社

成田運輸株式会社

西日本鉄道株式会社

日触物流株式会社

株式会社日新

日清物流株式会社

日東ロジコム株式会社

株式会社日本アクセス

日本製紙物流株式会社

日本通運株式会社

日本トランスシティ株式会社

株式会社ハピネット・ロジスティクスサービス

日立アロカメディカル株式会社

株式会社日立フーズ&ロジスティクスシステムズ

株式会社日野ロジスパック

富士電機株式会社

プラスロジスティクス株式会社

平和みらい株式会社

ホクショー株式会社

丸紅ロジスティクス株式会社

株式会社丸和運輸機関

三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社

株式会社三越伊勢丹ビジネス・サポート

株式会社三越伊勢丹フードサービス

明治ロジテック株式会社

八武崎運送株式会社

株式会社山定物流

ヤマトシステム開発株式会社

山村ロジスティクス株式会社

株式会社陽光

リコーロジスティクス株式会社

両備ホールディングス株式会社

株式会社ロジスティクス・ネットワーク

ロジスティクスオペレーションサービス株式会社

若松運輸株式会社

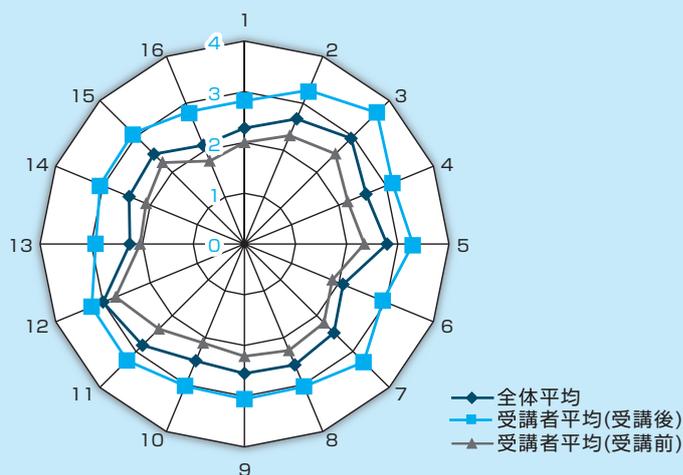
若松梱包運輸倉庫株式会社

物流現場改善リーダーキャリアアップ診断

物流現場改善を率先するリーダー育成のために、自己診断により、物流現場改善リーダーに必要な能力要件の強みと弱みを客観的に認識していただき、今後の自己啓発や研修計画に活用いただくものです。

本講座では、全受講者に受講前後に対し診断を行い、受講前には「強み」「弱み」を把握し、受講後には講座の理解度を確認します。(診断結果は、受講者ならびに派遣責任者に個別にフィードバックします。)

第7期物流現場改善士資格認定講座 受講者の診断結果(平均)と全体平均



グラフに記載の数字に該当する能力要件

グラフに記載の数字に該当する能力要件	
現状把握力	1 会社の基本認識
	2 物流の基本認識
	3 現場の実態認識の手法と技術
	4 問題・課題抽出力
改善企画力	5 改善企画策定能力
	6 手法・技術活用能力
	7 実行計画策定力
	8 目標設定能力
改善実行力	9 実行推進力
	10 教育・指導力
	11 トラブル対応力
	12 コミュニケーション力
評価・定着力	13 評価指標設定力
	14 進捗管理力
	15 目標達成力
	16 定着化力

参加申込規程

受講料

- ◇当協会会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 291,600円
(受講料270,000円+消費税21,600円)
- ◇上記会員外・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 399,600円
(受講料370,000円+消費税29,600円)

受講料に含まれるもの ① テキスト、資料代 ② 審査料

定員 **68名** (定員になり次第、締め切らせていただきます。)

申込方法

- ◇(WEBの場合)
当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。
トップ⇒資格講座・セミナー⇒資格認定講座⇒物流現場改善士資格認定講座
※当協会のホームページは www.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。
- ◇(FAXの場合)
下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。
- ◇派遣責任者の方へ「請求書」を開講日の約1週間前までにお送りいたします。
お手元に届かない場合は、ご連絡をお願いいたします。

個人情報のお取扱について

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

支払い方法

- ◇請求書が届き次第、指定銀行の口座にお振込みください。
- ◇お支払いは原則として開催前日までにお願いたします(開催後になる場合は、支払予定日を申込書の支払予定日欄に明記してください)。

【お願い】

- ◇受講予定の方のご都合がつかない場合は、全単元を代理の方が受講してください。なお、代理の方のご受講も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
(注) キャンセルはファックスでのご連絡のみ申し受けます。

【キャンセル規定】

- ◇開催7日前(開催初日を含まず起算)～前々日…(消費税を除く)参加料の30%
- ◇開催前日および当日……………(消費税を除く)参加料の全額

申込先/プログラム内容の問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベティアム3階
TEL:03(3436)3191 FAX:03(3436)3190

会場案内

- ◆TIME 24ビル
東京都江東区青海2-4-32
TEL:03(5531)0024

ご注意

- ◇テキストは会場でお渡しいたします。受講者以外の方には、テキストはおわけしておりません。
- ◇講座の撮影ならびに録音・録画は禁止とさせていただきます。

第8期 物流現場改善士資格認定講座		開催期間：2017年6月15日～2018年2月2日	BA1717
(フリガナ) () 会社・事業所名	<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 会 員 外	支払予定日 (開催後になる場合はご記入をお願いします) 月 日 支払予定	
(フリガナ) () 派遣責任者	所属・役職名		
勤務先住所 〒 -	TEL : - - FAX : - -		e-mail
(フリガナ) () 受講者1	所属・役職名		受付NO.
勤務先住所 〒 -	TEL : - - FAX : - -		e-mail
(フリガナ) () 受講者2	所属・役職名		受付NO.
勤務先住所 〒 -	TEL : - - FAX : - -		e-mail
名	円	※請求書は原則として、合計金額を派遣責任者様宛に送付いたします。 その他、請求先のご希望は「協会への連絡事項」へご記入ください。	

※e-mailのアドレスは必ずご記載下さい。

協会への連絡事項

受付日	請求日	請求番号